

【異文化コミュニケーション学部・異文化コミュニケーション研究科】対面授業の方針について

【4月29日～6月1日】

異文化コミュニケーション学部

・上記期間中は、原則として全ての科目においてオンラインで実施する。オンライン授業への参加方法は、「立教時間」もしくは「Blackboard」で科目担当者からの指示を確認すること。

・例外的に対面実施とする科目は以下の通り。
 「同時通訳入門」（ミックス型対応も行う）
 「音楽学特論」（5月14日の授業のみ対面実施。ミックス型対応も行う）
 「国内フィールドスタディA」（5月8、15、22日に学外でフィールドスタディを実施する。5月29日の授業は対面で実施するが、ミックス型対応も行う）
 詳細は各科目担当者からの指示を確認すること。

異文化コミュニケーション研究科

・上記期間中は、原則として全ての科目においてオンラインで実施する。オンライン授業への参加方法は、「立教時間」もしくは「Blackboard」で科目担当者からの指示を確認すること。

・例外的に対面実施とする科目は以下の通り。
 「会議通訳入門」（ミックス型対応も行う）
 詳細は各科目担当者からの指示を確認すること。

【4月1日～4月28日】

異文化コミュニケーション学部

・上記期間中は、原則として全ての科目においてオンラインで実施する。オンライン授業への参加方法は、「立教時間」もしくは「Blackboard」で科目担当者からの指示を確認すること。

・例外的に対面実施とする科目は以下の通り。
 「同時通訳入門」（ミックス型対応も行う）
 ・1年次必修科目「基礎演習A・B (Academic Skills A・B)」「言語・コミュニケーション研究入門 (Overview of Language and Communication Studies)」「グローバル研究入門 (Overview of Global Studies)」は、対面授業を行う(対面授業の回数は初回の授業で履修者に周知する)。但し、「基礎演習A・B」については、基礎疾患・既往症等により感染時に重篤化するリスクが高いため登校できない学生(大学への事前申告により認められた場合のみ)や出入国制限等により渡日できない留学生向けにオンライン専用クラスを設ける。その他の科目については、該当者がいる場合、ミックス型授業を実施する。

・2年次必修科目「Cultural Exchange」は各クラス2回程度対面授業を行う。
 ・コミュニケーションセミナー1B, 2D, 3A-R, 3B-R は言語やクラスによって授業形態(オンラインまたは対面)や対面授業の回数が異なる。

・「専門演習1-3」の授業形態は担当教員によって異なる。初回の授業までに担当教員から連絡があるので、そちらを確認すること。

・英語教員養成プログラムの必修科目・選択必修科目の授業形態は以下の通り。
 対面(対面授業の回数は科目によって異なる):「Introduction to the Study of English」「Teaching English to Speakers of Other Languages」「英語教育学」「英語圏文学論」「英語コミュニケーション教育学」「英語科教育研究」
 オンライン:「コンピュータ・リテラシー」「Seminar in English A・B」「英語学概論」

・通訳・翻訳者養成プログラム関連科目は、「通訳翻訳学概論」(オンライン)を除いて、対面で行う(但し、対面授業の回数は科目によって異なる)。

・日本語教員養成プログラム関連科目の授業形態は以下の通り。
 対面(対面授業の回数は科目によって異なる):「日本語学概論A・B」「日本語学特論」「海外インターンシップ(CIC)A・B」「サービスマーケティングB」「日本語教授法A・B」「日本語教育実習」
 オンライン:「サービスマーケティングA」

・上記の科目を除く学部専門教育科目の約6割が対面で行われる(但し、対面授業の回数は各科目によって異なる)。

注)上記の情報は、3月1日時点の授業実施予定である。新型コロナウイルス感染症の感染拡大などやむを得ない理由により、変更になる場合がある。

異文化コミュニケーション研究科

・「研究指導演習A・B」「修士論文指導演習A・B」「研究指導A・B」の授業形態は担当教員によって異なる。初回の授業までに担当者から連絡があるので、そちらを確認すること。

・上記科目を除く研究科科目は、全体の8割程度が対面で行われる(但し、対面実施回数は科目によって異なる)。

・会議通訳者養成プログラム・翻訳専門職養成プログラム関連科目は、「通訳翻訳理論」(オンライン)を除いて、対面で行う(但し、対面授業の回数は科目によって異なる)。

・TESOL-J関連科目の授業形態は以下の通り。
 対面(対面授業の回数は科目によって異なる):「Teaching English Speaking/Listening to Japanese Students」「Pedagogical English Grammar to Japanese Students」「Japanese Culture: From Observation to Assimilation」「Content and Language Integrated Learning」「Teaching Paracticum」「Psychology of the Language Learner」

オンライン:「Japanese Education System and English Language Education in Japan」「Teaching English Reading/Writing to Japanese Students」「Teaching EFL to Japanese School Children」「Teaching English Vocabulary to Japanese Students」「Curriculum and Syllabus Design」

注)上記の情報は、3月1日時点での授業実施予定である。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などやむを得ない理由により、変更になる場合がある。